



CLEAN WATER FROM FOREST

桜川市は
山や森、田んぼにかこまれたまちです。

ここでの暮らしは
常に里山の自然といっしょでした。

この里山には
55万本ものヤマザクラが育っています。
一本一本ちがう花を咲かせ
春には、山いっぱいに
特別な景色が広がります。

わたしたちは、この景色を守りたい。

里山を守ることは
きれいな水や農業を守ること。

そして
ここにしかない桜川の風景を
未来につなぐことです。

ヤマザクラのように
それぞれのちがいを大切にしながら
桜川らしい暮らしを
これからも守っていきましょう。

おいしい水は、
元気な森から。

桜川の

里山を 守ろう 大作戦

桜川市×キッコーマン

(桜川ヤマザクラの森整備活用推進協議会)

ヤマザクラの森と水を守る 活動のはじまり

桜川市では、
キッコーマンと協力して、
ヤマザクラの森と水を守る活動を
行っています。
どうやってこの活動がはじまったのか、
少しだけのぞいてみましょう。



キッコーマンって？

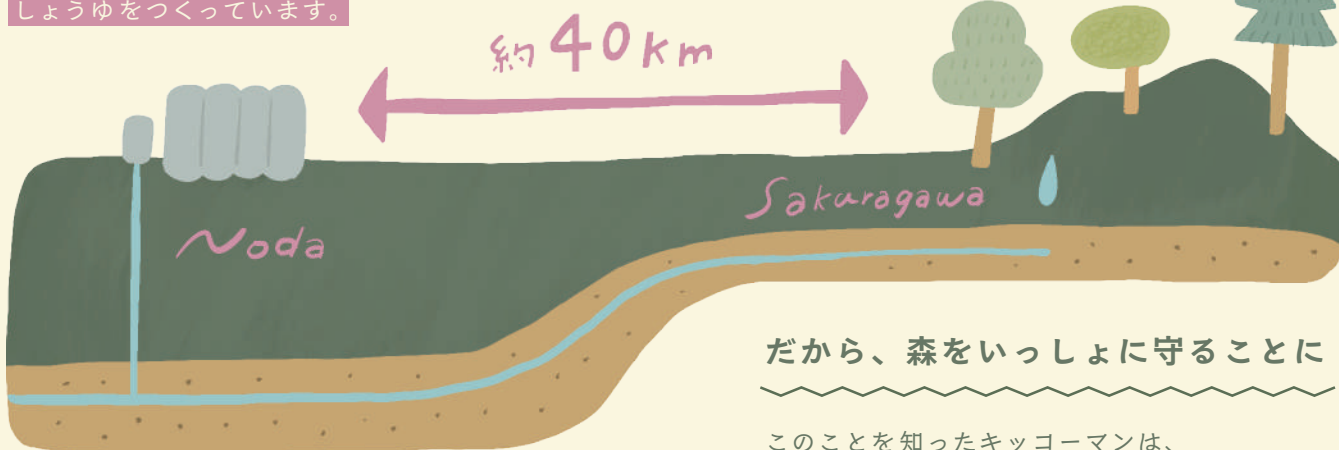
キッコーマンは、日本でいちばん
しょうゆをつくっている会社です。
今では海外にも工場があり、
世界100以上の国や地域で使われています。



千葉県野田市にある工場では、

地下深くからくみ上げた水を使って、

しょうゆをつくっています。



どうやって、そんな遠くまで届くの？

筑波山と野田市は、約40kmもはなれています。

水は、川の上を流れていくのではなく、

地面のとても深いところを、ゆっくり進んでいきます。

その深い地面の中には、

水が流れやすい「そう(地そう)」があり、
そこを、少しずつ移動しているのです。



その水は、どこから来ているの？

しょうゆづくりに使われている水のうち、
約12%が桜川市の筑波山の近くから
来ていることが、調べてわかりました。
つまり、**桜川の里山でしみこんだ水が、
遠く野田市まで届いている**のです。

だから、森をいっしょに守ることに

このことを知ったキッコーマンは、
桜川市と話し合い、

「桜川ヤマザクラの森整備活用推進協議会」
をつくりました。

里山を守ることは、きれいな水を守ること。
きれいな水は、人の暮らしや、
おいしいしょうゆにつながっています。

だから今、みんなで力を合わせて、
筑波山の森を守る活動を続けています。

